

ちゃんと かわら版 千歳

株式会社もりもと(森本真司代表取締役社長)は今年5月〜6月に旭川で開催された第28回全国菓子大博覧会・北海道(あさひかわ菓子博2025)にて同社が製造、販売を行っている菓子が受賞されたことをうけ、千歳市役所で7月11日、横田隆一市長らに受賞報告を行いました。

同博覧会では4〜6年ごとに全国で開催され、北海道での開催は1968年以来、57年ぶりとなりました。今年は約1200点が出品し、その中で2015年から発売された「北の散歩道ハスカップ」が一般菓



最高位 名誉総裁賞受賞 千歳の銘菓が全国で輝く

「ハスカップ」はクッキーに北海道の特産品であるハスカップを使用したチョココレートを重ねた菓子。「千歳うまれのたまごまんじゅう」は道内でトップクラスの卵生産量を誇る千歳市でうまれた赤玉卵「こくまろ」の風味を活かした黄身餡が特徴の焼き



子機関賞の最高位にあたる名誉総裁賞を初めて受賞。また、2013年に誕生した「千歳うまれのたまごまんじゅう」が金菓賞を受賞しました。「北の散歩道

(編集 佐々木)



ユーカラコンサート開催 聴衆の耳を楽しませる

第1特科団音楽隊・北千歳駐屯地開庁73周年を記念した「ユーカラコンサート」が7月5日、北ガス文化ホールで開催されました。会場には市民や自衛隊関係者の家族など約400人が来場。第1特科団音楽隊のほか、上富良野駐屯地音楽隊や千歳市立千歳中学校吹奏楽部のメンバーなどが演奏。大迫力の音楽演奏で聴衆を楽しませました。

第1特科団音楽隊は1962年に発足。2001年に「ユーカラコンサート」を同会場で開催するほか、「千歳音楽まつり」や「インディアン水車まつり」など自衛隊内および近隣市町の各種イベントに参加。「市民とともに」を合言葉に、地域に密着した音楽隊を目指し、演奏活動に取り組んでいます。演奏は3部構成で

行われ、第1部の開幕は行進曲「アメリカン・パトロール」を演奏。「もしもピアノが弾けたなら」の演奏では昨年亡くなった俳優の西田敏行さんを偲び、隊員が歌唱。その歌声に聴衆は魅了されました。

第2部では千歳中学校吹奏楽部が今年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲である「ステップ、スキップ、ノンストップ」(順次進行によるカプリッチョ)を演奏。軽快な音楽に心を弾ませました。

第3部は自衛隊音楽隊と千歳中学吹奏楽部による合同演奏。R&Bの名曲「恋はあせらず」の演奏のほか、マーチの定番「星条旗よ永遠なれ」では観客が音楽に合わせて手拍子を打ち、会場全体は大いに盛り上がりしました。

最後はアンコールの演奏が行われ、全10曲の演奏が終了。聴衆は楽しいひと時を過ごしました。

(編集 佐々木)



千歳市長都にある「ジェラテリア ミルティーロ」を経営している有限会社ベリファーム(加藤寛志代表取締役)が市内に18校ある小学校の全児童に運動会を頑張った証として賞状と同店で作るジェラート無料券を配布したことを称え、北ガス文化ホールにて千歳市PTA連合会会長の小倉郁美氏より感謝状が贈られました。

同事業は3年前にミルティーロからの提案で始まり、同店からみどり台小学校のグラウンドを望むことができ、運動会の時期になると子どもたちの熱心な声と懸命な練習姿が店舗から見えたそうです。その姿をみたスタッフが「何かできることはないか?」と考えたのがきっかけでした。

ミルティーロ 児童全員にジェラート無料券配布

た。事業は大好評で、初年はみどり台小学校のみでしたが、年々配布する学校が増加していき、4年目となる今年で初めて、市内全ての小学校に配布しました。

小倉会長は「今日、公園で遊ぶ子どもたちの声や運動会の音がうるさいと苦情が来る悲しい出来事がある中、地域の方からあたたかい目で見守り、応援してくださるのは、親としてこの上ない喜びです。心から感謝申し上げます」と祝辞を述べました。

加藤代表取締役は「まさか感謝状をいただけるのは夢にも思いませんでしたが、うれしい気持ちでいっぱいです。毎年、子どもが無料券と賞状を持って来店してくださり、店の隣にある広場で元氣いっぱい遊んでいる姿を見ると、ほほ笑ましい気持ちになります。今後とも皆さまのお力添えをいただきながら、貢献していきたいです」と話しました。

(編集 佐々木)

